

Golden Brass Japan Festival & Seminar の開催に寄せて

～ Dream and Challenge ～

今から 70 年ほど前、まだ戦争の傷跡が生々しく残っていたであろう東京に、「世界に認められる日本人演奏家を育てよう」という大きな夢を抱いた音楽教師がいました。その方のお名前は、齋藤秀雄先生と言います。そして、先生の夢を現実にした方々の代表が「世界のオザワ」こと小澤征爾さんです。その後も、先生が育てた若い演奏家たちは、海外に飛び出し、成功を収め、今や、世界の音楽界は日本人演奏家なしでは成り立たない、とさえ言われる程になりました。一人の教師の夢が、こんなにも大きな花を咲かせることになったのです。

ただ、指揮者や弦楽奏者たちの欧米での活躍が、日々話題となるのに比べ、管楽器奏者の活躍が(一部を除いて)なかなか聞こえないのは、同じ管楽器奏者として残念なことだと思います。日本中の多くの学校で吹奏楽やマーチングバンド活動が行なわれ、この国の音楽教育にも大きな役割を果たしています。日本は世界に誇る「吹奏楽大国」だとも思います。良い演奏、またはコンクール等の良い結果を目指して、日々必死になって音楽に取り組んでいる若者達が、指導する先生からの叱責に、汗と涙で顔をぐしょぐしょにしながら懸命に努力している姿に、私たちプロの演奏家も心を揺さぶられます。それはそのまま私たちの青春時代の姿にもつながるからです。

この音楽祭のタイトルを「フェスティバル & セミナー」と名付けてもらい、テーマの一つを「若き才能の発掘と育成」としたのは、私自身の夢が含まれています。参加して下さいた皆さんの中から、これからの日本の、そして世界の管楽器界を担う素晴らしい奏者が現れることを期待しているのです。

今回、いま最も輝いている日本を代表する一流プレーヤーたちが、これほど集まったというのは、本当に奇跡的なことだと思います。彼らは、コンサートへの出演だけではなく、セミナーの講師として、フェスティバル期間を通じて皆さんと交わり、一緒に音楽を楽しもうと考えてくれています。

～ Dream & Challenge ～ これこそ若者たちの特権です。今だからこそ勇気を持って夢に向かって挑戦しましょう。70 年前に齋藤先生が抱かれた夢が実現したように、今度は私たちが「管楽器王国 JAPAN」を目指しましょう。2016 年の新春、多くの皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

2015 年 7 月 8 日

Golden Brass Japan Festival & Seminar

音楽監督

高橋 敦

Osamu Takahashi